

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室
大項目	2 人権教育・人権問題(研究科)《全学的な視点》	
中項目		
小項目	2.0.1 人権教育は、本学の使命・目的に照らして適切に行っているか。	
要素	(KG1) 方針、実施内容 (KG2) 人権意識の涵養とその現状	
小項目	2.0.2 人権問題への対応を適切に行っているか。	
要素	(KG1) ハラスメント防止のための措置の適切性 (KG2) セクシャル・ハラスメント防止への対応 (KG3) アカデミック・ハラスメント防止への対応 (KG4) その他ハラスメント防止への対応 (KG5) 人権侵害の防止とその対応	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. ミッションステートメントにふさわしい新たな人権教育の基本方針を明確化する。	→ 新たな人権教育の基本方針の明確化を目指して、学長室と人権教育研究室との定例検討会を開催する。	D
2. 新たな人権教育の基本方針の検討を踏まえて、人権に関する意識を涵養する教育を実践する。	→ 人権問題講演会や研究会をフィルムセッション、写真展、トークと聴衆との双方向的なトークセッションといった学生に親しみやすい形式で行うようにするとともに、時代の流れに対応した新しい人権教育科目を拡充する。	B
3. 学内において人権教育を担う教職員の育成をふまえた人権文化をはぐくむ環境を整備する。	→ 学生（特に新入生）に対して、啓発パンフレットを配布し、人権教育科目の履修を督促する。教職員に対しては、大学主催の人権問題講演会への積極的な参加を奨励する。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目2.0.1	(現状説明) 2009年度より大学では人権関連科目群を「人権教育科目」という名称で、全学提供科目として明確化した。それにより、大学における建学の精神「Mastery for Service」にもとづいた人権教育の体制を整備した。
☆ 小項目2.0.2	(現状説明) 「キャンパス・ハラスメント相談規程」、「キャンパス・ハラスメント調査委員会規程」にもとづき、キャンパス・ハラスメント防止に関する意識啓発を行っている。また、2009年4月に新任教職員を対象に実施した新任教職員人権研修プログラムにおいて、障がいを持った学生に対する対応並びに配慮に関する研修の場をもった。さらに、2009年度は各キャンパスにおいて合計6回の人権問題講演会を開催し、人権問題に対する啓発活動を推進している。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項	
小項目2.0.1	
★小項目2.0.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策	
小項目2.0.1	
★小項目2.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目2.0.1	
★小項目2.0.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目2.0.1	
★小項目2.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】
○人権教育科目の設定やキャンパス・ハラスメントの取り組みは評価できます。なお、院生の参加がどの程度あるのか実態把握は行われているのでしょうか。

【学内委員】
○「目標1. ミッションステートメントにふさわしい新たな人権教育の基本方針を明確化する。」の進捗評価は「D」です。それに対して改善すべき事項にあげることが望まれます。
○目標2の進捗評価は「A」ですが、すでに目標達成なのでしょうか？ 進捗評価の基準はQ&Aをご覧ください。また、大学で同じ目標を掲げられていますが進捗評価は「A」です。違いがあるのでしょうか。
○学部以上に教員と学生の関係が密になるかと思われしますので、ハラスメント防止への対応が十全となることを期待します。
○学部の現状説明と同じことが述べられています。研究指導に重点がおかれる研究科では、アカデミックハラスメントなど異なる視点から現状を把握することが期待されます。
○本項目は本学独自の項目であり重要です。人権教育の基本方針の明確化は非常に困難なことですが、その実施が期待されます。
○人権教育の基本方針の明確化への過程が進むことが期待されます。
○現状説明において、目標について触れていただければよりわかり易いと思います。
○小項目2.0.1の現状説明は「大学院における人権教育の適切な実施」と言えるでしょうか。
○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。この記述だけでは現状がわかりません。
○人権問題講演会の成果は参加人数ではありませんし、少ないから駄目だというものではありません。現状分析する上で参加人数に触れることは必要です。
○改善すべき事項に記述はないのでしょうか。

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ (現状説明) 2.0.1に次の記述を加える。「大学院においては科目提供は行えていないが、人権問題講演会等への参加は呼びかけている。」

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

2.0.0.S1	人権問題講演会(大学・学部等)の開催数、教職員参加数、学生参加数
2.0.0.S2	人権教育研究室の活動実績
2.0.0.S3	人権教育科目の履修者数
2.0.0.S4	在学生のうち、セクシュアルハラスメントの相談を受ける窓口(相談員)が学内にあることを知っている者の比率

<個別的な指標>
